

2017年6月期 決算説明資料

目次

■ I. 決算概要

決算サマリー	1
グラフでみる当社グループの推移・動向	2
当社グループの事業内容、セグメント売上高	3
事業セグメント別の状況	4
2017年6月期 決算のトピックス	6
配当について	9
財務状況	10
2018年6月期連結業績予想	11

■ II. 今後の事業戦略

基本戦略	12
将来ビジョン	15

■ III. Appendix

セグメントごとの納入事例	16
事業拠点	24
注意事項	25

SECURITIES CODE : 6061

株式会社 **ユニバーサル園芸社**

2017年8月24日

I. 決算概要

決算サマリー

要約連結損益計算書、1株当たり指標

■ 業績は景況感回復を背景に増収増益

■ 主力事業のグリーン事業において、国内レンタルグリーンの契約件数の増加、造園施工、季節商品販売における売上増加および、米国のローリング・グリーズ社の事業譲受したこと等による影響が増収に寄与しております。また、小売事業の初期投資の回収をはじめ、経費削減等に努めた結果、増益となりました。

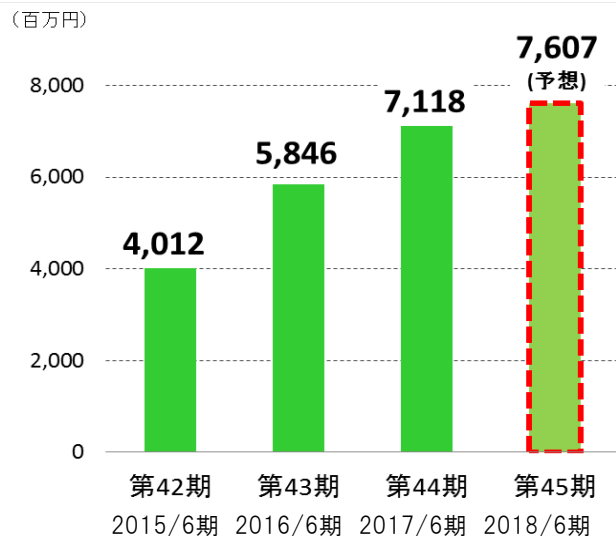
(百万円)

	第43期(2016年6月)		第44期(2017年6月)		
	金額	百分比(%)	(百万円)	百分比(%)	前期比(%)
売上高	5,846	100.0	7,118	100.0	21.8
営業利益	772	13.2	829	11.7	7.4
経常利益	741	12.7	931	13.1	25.7
親会社株主に帰属する当期純利益	494	8.5	625	8.8	26.4
1株当たり当期純利益(円)	102.94		130.13		
1株当たり純資産(円)	1,160.98		1,280.08		

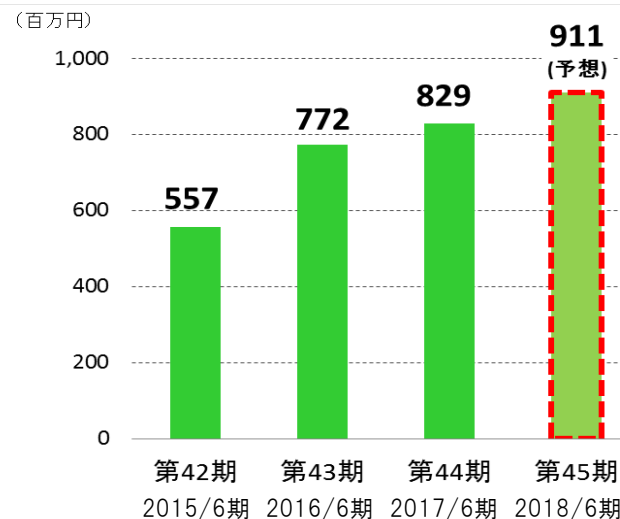
※2017年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。第43期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

グラフでみる当社グループの推移・動向

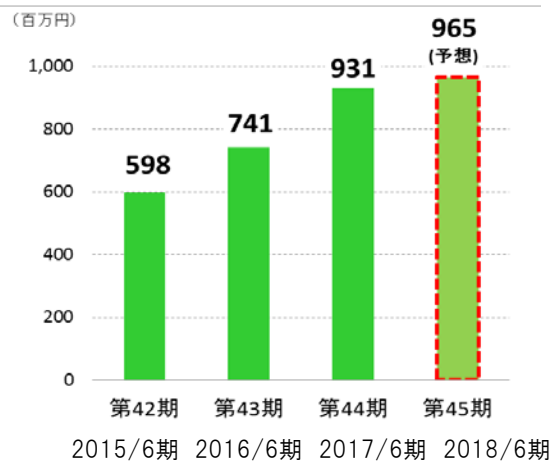
売上高



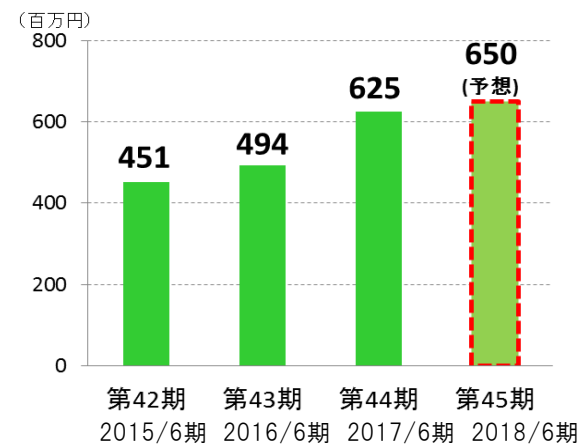
営業利益



経常利益

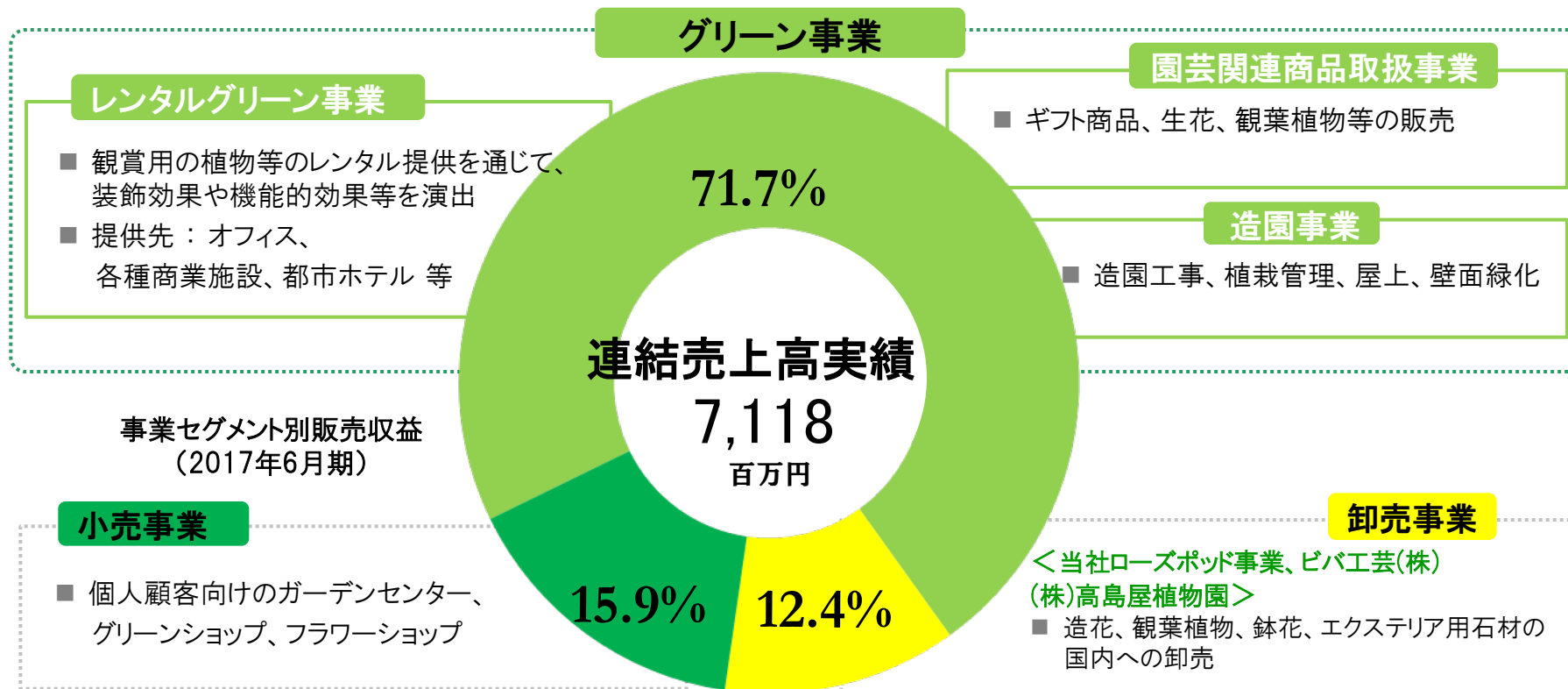


親会社株主に帰属する当期純利益



当社グループの事業内容、セグメント売上高

■ グリーン事業が連結売上高の約72%



※円グラフはセグメント間の内部取引高を含めた比率で表示しております。

事業セグメント(エリア)別の状況

(百万円)

		第43期 (2016/6期)	第44期 (2017/6期)	前期比(%)
グリーン事業	売上高	3,890	5,150	32.4
	利益	779	768	-1.5
卸売事業	売上高	927	896	-3.3
	利益	56	62	12.0
小売事業	売上高	1,121	1,140	1.7
	利益	-85	-26	—

■ 主力のグリーン事業は景況感の回復が進み、契約数の増加や米国のローリング・グリーンズ社の影響等により増収、ローリング・グリーンズ社の事業譲受によるM&Aの一時的な取得関連費用により減益

■ 卸売事業は既存取引先との取引が減少したこと等により減収、積極的に経費削減等に取り組んだこと等により増益

■ 小売事業は新規店舗の認知度を高め増収、設備投資の償却負担等が回収できなかったこと等によりセグメント損益は損失

グリーン事業内訳(エリア別)

(百万円)

		第43期 (2016/6期)	第44期 (2017/6期)	前期比(%)
関東エリア	売上高	1,703	1,870	9.8
	利益	419	424	1.1
関西エリア	売上高	1,440	1,520	5.5
	利益	332	321	-3.1
海外エリア	売上高	746	1,759	135.7
	利益	27	21	-19.6

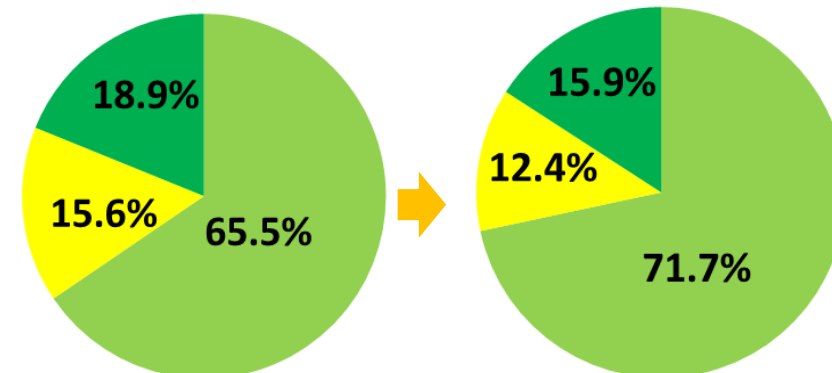
※各業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

※セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

セグメント別 売上高 (百分比)

第43期(2016/6期)

第44期(2017/6期)



■ グリーン事業 ■ 卸売事業 ■ 小売事業

事業セグメント(売上)別の状況

(百万円)

		第43期 (2016/6期)	第44期 (2017/6期)	前期比(%)
グリーン事業	売上高	3,890	5,150	32.4
	利益	779	768	-1.5
卸売事業	売上高	927	896	-3.3
	利益	56	62	12.0
小売事業	売上高	1,121	1,140	1.7
	利益	-85	-26	—

グリーン事業内訳(売上別)

(百万円)

	第43期 (2016/6期)	第44期 (2017/6期)	前期比(%)
レンタルグリーン売上	2,486	3,174	27.7
その他売上	1,427	2,000	40.1
合計	3,913	5,175	32.2

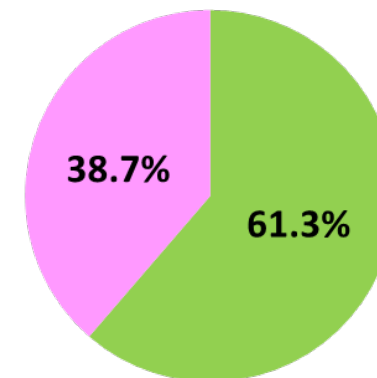
※各業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

※その他売上はレンタルグリーン以外の、園芸関連商品取扱事業(ギフト、人工樹木、装飾、季節商品販売等)、造園事業(造園施工、植栽管理等)を指します。

※レンタルグリーン売上の一部に小売事業におけるレンタルグリーン売上が含まれております。

グリーン事業内訳(売上別) (百分比)

第44期(2017/6期)



■ レンタルグリーン売上 ■ その他売上

2017年6月期 決算のトピックス

① 株式分割

◆ 投資単位当たりの金額を引き下げ、投資家の皆様により投資しやすい環境を整え、株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を目的に、2017年1月1日付で、1株につき2株の割合をもって株式分割しました。

② 株主優待制度の拡充

◆ 現行の株主優待制度に加え、2017年12月より、毎年第2四半期期末(12月31日)現在の当社株主名簿に記載または、記録された1単元(100株)以上を保有されている株主様を対象に当社オリジナルクオカード1,000円分を進呈いたします。

※現行および今回追加の株主優待制度につきましては、2017年1月1日における株式分割後の株式数を基準に実施予定

現行	基準日	保有株式数	優待内容	発送時期
	6月末日	100株以上	当社オリジナルクオカード 2,000円分	9月下旬

※現行の株主優待制度は2016年6月より実施しており、2016年9月下旬に進呈致しました。

今後	基準日	保有株式数	優待内容	発送時期
	6月末日	100株以上	当社オリジナルクオカード 2,000円分	9月下旬
	12月末日※	100株以上	当社オリジナルクオカード 1,000円分	3月上旬

※2017年12月より実施、2018年3月上旬進呈予定となります。

2017年6月期 決算のトピックス

■ ③ 剰余金の増配

◆ 2017年6月期につきましては、1株当たり17円50銭から2円50銭増配し、配当金を20円00銭といたします。

■ ④ 株主数増加

◆ 2017年6月期現在、1,141名(前期末)から3,361名に増加しました。

■ ⑤ 支店開設

◆ 2016年12月にグループの主力事業であるレンタルグリーン事業の拡大を目指し、横浜を首都圏における国内の主要な市場と位置付け、営業活動の効率化、エリア拡大を積極的に行うために、横浜支店を開設しました。

所在地：神奈川県横浜市保土ヶ谷区和田二丁目2-2



2017年6月期 決算のトピックス

■ ⑥法人向けギフトサイトの開設

- ◆ 2017年3月より、当社オリジナル法人向けギフト注文サイト「Hana Terras (ハナテラス)」がオープンしました。(https://hana-terras.com)



贈り花のお悩みはHanaTerrasにご相談ください
花と緑のスペシャリストがご案内いたします



配当について

配当総額の推移

2015年6月期	72,072,120円
2016年6月期	84,082,425円
2017年6月期	96,092,460円(予定)

配当方針

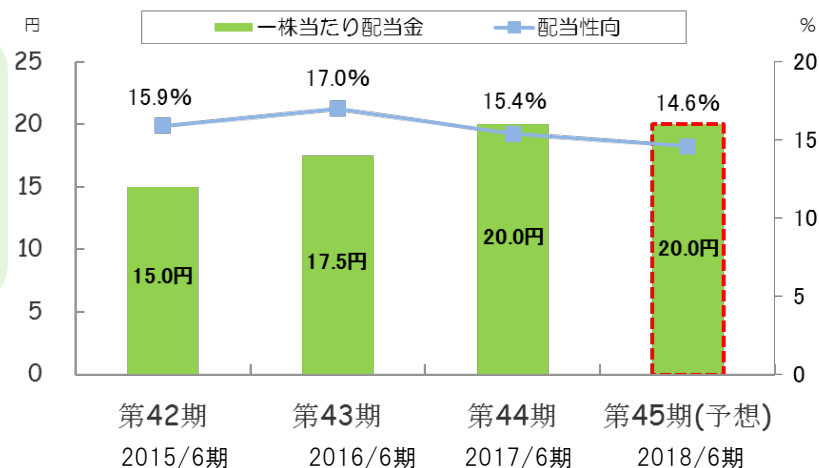
【基本方針】

- 内部留保の確保等により財務体質と経営基盤の強化を図るとともに、株主への長期的な利益還元を第一とし、継続的かつ安定的な配当を実施
配当水準については、安定的な株主還元を主軸に、利益水準や内部留保の増大にあわせて適宜引き上げを検討

【内部留保資金の用途について】

- 新事業部門や新たな支店開設の資金、及び他社との業務提携、M&Aの備えとする

配当金の推移



※一株当たりの配当金を分割を考慮した上で、遡及修正しております。

財務状況

連結貸借対照表

第43期 決算期(2016/6月末)

(百万円)

流動資産	3,380	流動負債	1,001
(うち手元流動性)	2,393	固定負債	785
固定資産	3,984	負債計	1,787
(うち投資その他資産)	1,965		
		純資産計	5,578
総資産計	7,365	負債・純資産計	7,365

第44期 決算期(2017/6月末)

(百万円)

前期末比(%)			前期末比(%)		
流動資産	3,242	-4.1	流動負債	781	-21.9
(うち手元流動性)	2,149	-10.2	固定負債	496	-36.8
固定資産	4,185	5.0	負債計	1,278	-28.5
(うち投資その他資産)	1,759	-10.5			
			純資産計	6,150	10.3
総資産計	7,428	0.9	負債・純資産計	7,428	0.9

※手元流動性は、当社連結貸借対照表の流動資産項目のうち、現金及び預金並びに有価証券の合計額を記載しております。

2018年6月期連結業績予想

業績予想のポイント

- レンタルグリーンシェア拡大に注力
- 生花店、園芸雑貨店の小売事業の拡大、および初期投資の回収に向け経費削減などの収益力強化

(百万円)

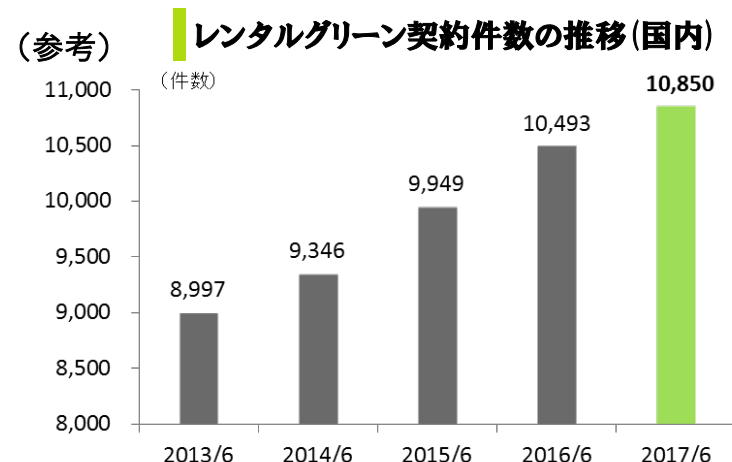
	第44期(2017/6期)		第45期予想(2018/6期)		
		百分比(%)	百分比(%)	前期比(%)	
売上高	7,118	100.0	7,607	100.0	6.9
営業利益	829	11.7	911	12.0	9.8
経常利益	931	13.1	965	12.7	3.7
親会社株主に帰属する当期純利益	625	8.8	650	8.6	4.1
1株当たり当期純利益(円)	130.13		135.47		
1株当たり配当金(円)	20.00		20.00		

基本戦略

1 グリーン事業の収益基盤の強化

- 多数の幅広い顧客による支持→顧客満足度の向上より企業価値の向上
- レンタルグリーン事業のシェア拡大

レンタルグリーン市場における当社の国内
シェア・・・推計5.0%程度※
⇒シェア拡大余地は大きい



2 レンタルグリーン事業のお客様よりギフト、装飾、ランドスケープ等波及した園芸関連商品の受注

→相乗効果による事業拡大

※当該推計値は矢野経済研究所「フラワー&グリーン市場に関する調査結果2012」のグリーン市場におけるリースレンタル業408億円に対する、2017年6月期の当社単体売上高における、レンタルグリーン売上高2,143百万円の割合を記載しております。

3 小売事業へのチャレンジ

■ フLOWER、ガーデンショップの店舗数を拡大 ➡ 新規出店に加え、M&Aも選択肢

■ ガーデンセンター

「the Farm UNIVERSAL」

(ザ ファーム ユニバーサル)

- ・大阪本社
- ・千葉



(ザ ファーム ユニバーサル 大阪本社)

■ フラワーショップ

「Fleur Universelle petit」

(フルール ユニヴェセール プティ)

- ・東急プラザ蒲田店



(広尾店)

「Fleur Universelle」

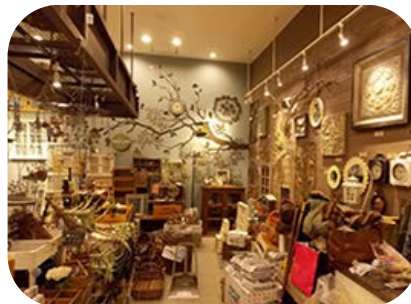
(フルール ユニヴェセール)

- ・広尾店

■ グリーンショップ

「花と緑と雑貨のお店 りこしえ+」

- ・ランチ神戸学園都市店
- ・フォレオ大津一里山店
- ・イオンモール四條畷店



(ランチ神戸学園都市店)

■ カフェ

「FARMER'S KITCHEN」

(ファーマーズ キッチン)

- ・大阪本社
- ・千葉



(ファーマーズキッチン 大阪)

「Les Grands Arbres」

(レ・グラン・ザルブル)

- ・広尾店

「the Farm UNIVERSAL 銀座」

(ザ ファーム ユニバーサル)

4 海外事業の展開

2007年12月 上海進出(上海寰球園芸産品租賃有限公司)

2015年4月 ワシントンD.C.進出
ローリング・グリーンズ・インクを100%子会社化

2016年2月 セッジフィールド・インテリア・ランドスケープ・インクより、
2支店を事業譲受

2016年5月 プレミア・プラントスケープス・エルエルシーより、
植物のオフィス向け販売・メンテナンス事業を譲受



将来ビジョン

日本一の園芸会社

2020年6月期を最長に

売上

連結売上高 100億円

利益

連結経常利益 13億円

成長

毎年2ケタ成長を目指す

事業拡大

新商材・新事業

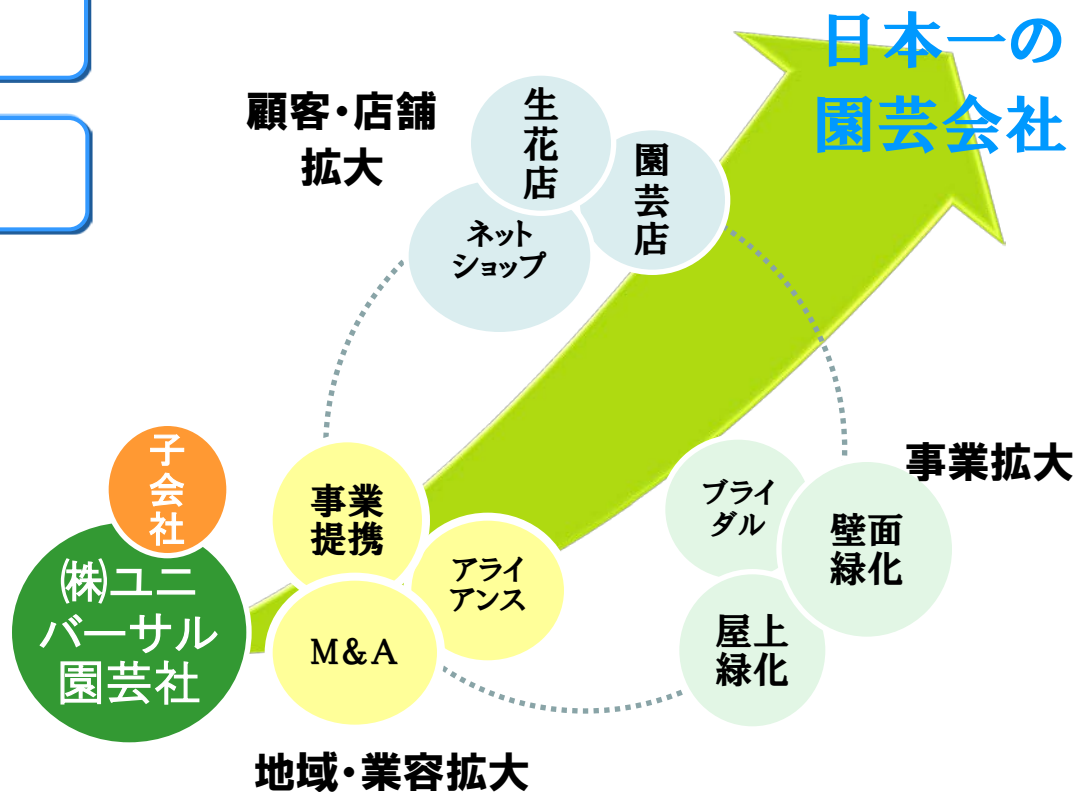
地域拡大

国内主要都市・海外

人材育成

技術力・サービス力向上

事業戦略推進のイメージ



セグメントごとの納入事例・紹介



グリーン事業（レンタルグリーン） オフィス、エントランス他

セグメントごとの納入事例・紹介



グリーン事業（レンタルグリーン）室内壁面装飾、アートフラワー

セグメントごとの納入事例・紹介



グリーン事業（屋上緑化、壁面緑化）

セグメントごとの納入事例・紹介



グリーン事業（季節商品（クリスマス等）、イベント、ブライダル事業）

セグメントごとの納入事例・紹介

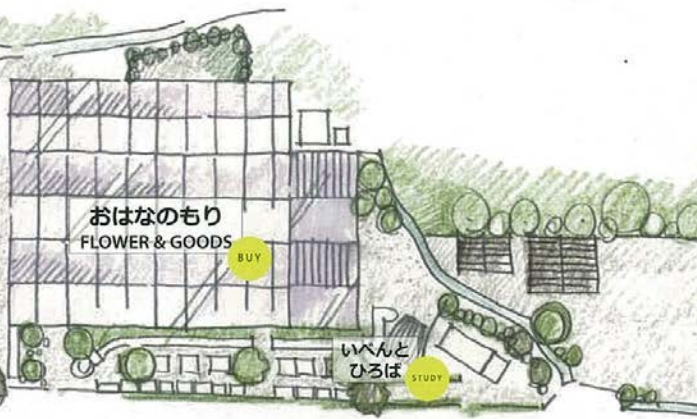


グリーン事業(造園事業、ネット事業、ギフト事業)

セグメントごとの納入事例・紹介


the Farm
UNIVERSAL

OPEN
10:00-18:00



小売事業 (the Farm UNIVERSAL)

セグメントごとの納入事例・紹介



小売事業（花と緑と雑貨のお店 りこしえ+ Fleur Universelle）

セグメントごとの納入事例・紹介



卸売事業(高島屋植物園、ビバ工芸)

事業拠点

東京・名古屋・大阪の3大都市圏を中心としたサービス提供網を構築

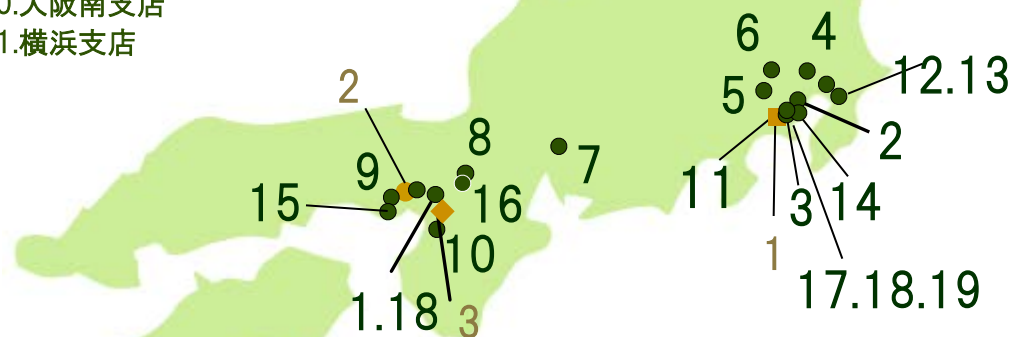


大阪本社

- 1.大阪本社
ザファーム
ファーマーズキッチン
- 2.東京本社
- 3.東京南支店
- 4.東京東支店
- 5.東京西支店
- 6.東京北支店
- 7.名古屋支店
- 8.京滋支店
- 9.神戸支店
- 10.大阪南支店
- 11.横浜支店

- 12.ザファーム千葉
- 13.ファーマーズキッチン千葉
- 14.フルール・ユニヴェセール
&レ・グラン・ザルブル(広尾)
- 15.りこしえ プランチ神戸学園都市店
- 16.りこしえ フォレオ大津一里山店
- 17.フルール・ユニヴェセールプティ(蒲田)
- 18.りこしえイオンモール四條畷店
- 19.ザファーム銀座

個人向け店舗
(1.はガーデンセンター&カフェ)
(14.はフラワーショップ&カフェ)



[海外連結子会社]

- 1.上海寰球園芸産品租賃
有限公司<グリーン事業>
(2007年12月設立)
- 2.ローリング・グリーンズ・インク
<グリーン事業>
(2015年4月子会社化)

[国内連結子会社]

- 1.ピバ工芸(株)<卸売事業> (子会社化) 2009年11月
- 2.(株)花守花の座<小売事業> 2013年2月
- 3.(株)高島屋植物園<卸売事業> 2015年4月



東京本社

注意事項

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社ユニバーサル園芸社(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、2017年8月24日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 投資に際しての最終的なご判断は、投資家ご自身がなさるよう、宜しくお願い致します。